



HEXAGON
GEOSPATIAL



ERDAS IMAGINE 2025

インストールガイド

(ERDAS IMAGINE、IMAGINE PHOTOGRAMMETRY 共通)

Ver2025(16.9)

Mar 2026

Contents

内容

I.概要	4
ERDAS IMAGINE 2025 を使い始めるために	4
II.インストールの準備	6
ライセンス管理方法の決定	6
インターネット環境ではない場合やアクティベーション ID がない場合	8
ソフトウェアをインストールするコンピューターの条件	8
管理者権限のある Windows ユーザーアカウント	8
使用するインストーラー	8
III.ERDAS IMAGINE 2025 のインストールと設定	11
ステップ 0. インストーラーのダウンロード	12
ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール	12
□ 旧バージョンの Geospatial Licensing のアンインストール	12
□ Geospatial Licensing 2025 のインストール	13
ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2025 のインストール	17
□ ERDAS IMAGINE 2025 のインストール（必須）	18
ステップ 3. アクティベーションの設定	21
ケース 1：ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE をインストールしていない場合	23
ケース 2：ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE もインストールしている場合	28

IV.ERDAS IMAGINE 2025 の起動確認.....	28
V.ERDAS IMAGINE 2025 のアンインストール.....	29
1. ERDAS IMAGINE 2025 のアンインストール.....	29
Hexagon Geospatial セットアップマネージャーを使用したアンインストール方法	30
Windows のコントロールパネルからアンインストールする方法	30
2.Geospatial Licensing 2025 のアンインストール	31
VI. FAQ.....	33
付録 1. IMAGINE 2025 のインストールの流れ.....	35
付録 2：動作環境	35
システム要件	36
ERDAS IMAGINE	36
ERDAS IMAGINE システム要件ノート	38
Geospatial Licensing 2025	40

I .概要

本書は、ERDAS IMAGINE 2025 のインストール方法について紹介しています。

ERDAS IMAGINE 2025 (v16.9.x) のリリースでは、ActivatinIDによるライセンス認証方式が標準採用されています。Hexagon サーバーを介した ActivaitonID によるライセンス認証は、お客様からホスト ID を弊社にご連絡いただき、弊社よりライセンスファイルを送る必要がなくなりました。

ERDAS IMAGINE 2025 は、アップデートのインストーラーはフルインストーラーです。

これは、フルインストーラーとして、以前にインストールされたバージョンへの更新をロールバックすることができなくなることを意味します。そのため、たとえば、ERDAS IMAGINE 2025 Update 1 を使用して ERDAS IMAGINE 2025 を更新した場合、アンインストールすると ERDAS IMAGINE 2025 全体が削除されます。その結果、「ロールバック」には ERDAS IMAGINE をアンインストールしてから目的の以前のバージョンを再インストールする必要があります。

ERDAS IMAGINE 2025 を使い始めるために

ERDAS IMAGINE 2025 を使い始めるには、以下の3つが必要です。

1. IMAGINE 2025 用 のアクティベーション ID
2. ライセンス管理ツール (Geospatial Licensing)
3. IMAGINE 2025 のインストーラー

3つのステップで ERDAS IMAGINE 2025 の設定およびインストールを実施できます。

ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール

ライセンスサーバーとなるコンピューターにライセンス管理ツールをインストールします。

ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2025 のインストール

ERDAS IMAGINE 2025 を使用するコンピューターにアプリケーションをインストールします。

ステップ 3. アクティベーションの設定

弊社の送付したアクティベーション ID を用いて、アクティベーションの設定を行います。

1.ライセンス管理ツールのインストール



2.ERDAS IMAGINEのインストール



3.アクティベーションの設定

Ⅱ.インストールの準備

ERDAS IMAGE 2025 のインストールを行う前に、以下の準備が必要です。

- ライセンス管理方法の決定
- ソフトウェアをインストールするコンピューター
- 管理者権限のある Windows ユーザーアカウント
- 使用するインストーラーの入手

ライセンス管理方法の決定

ERDAS IMAGE のライセンスは、ライセンスサーバーによって管理されます。ライセンスサーバーは、IMAGE をインストールするコンピューター（クライアント）に設定する、もしくは、ライセンスサーバーだけを別のコンピューターに構築して、クライアントのコンピューターからライセンスを参照する形態で管理することもできます。一般に、下図のような 3 つのタイプが考えられます。IMAGE のインストールを実施する前に、ライセンスをどのように管理するか決定してください。

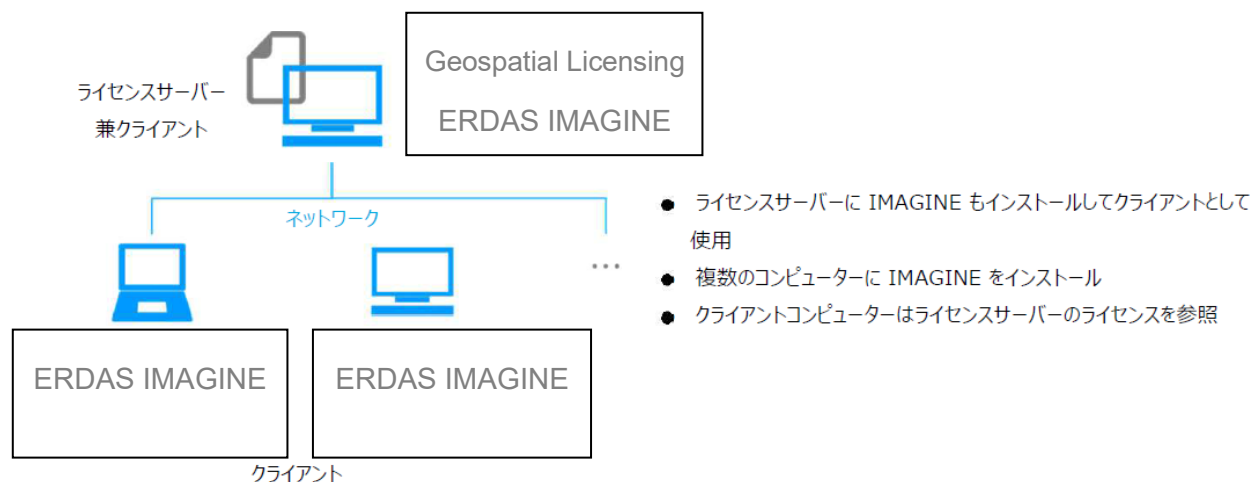
タイプ 1：ライセンスサーバーに IMAGE をインストールする場合（スタンドアロン）



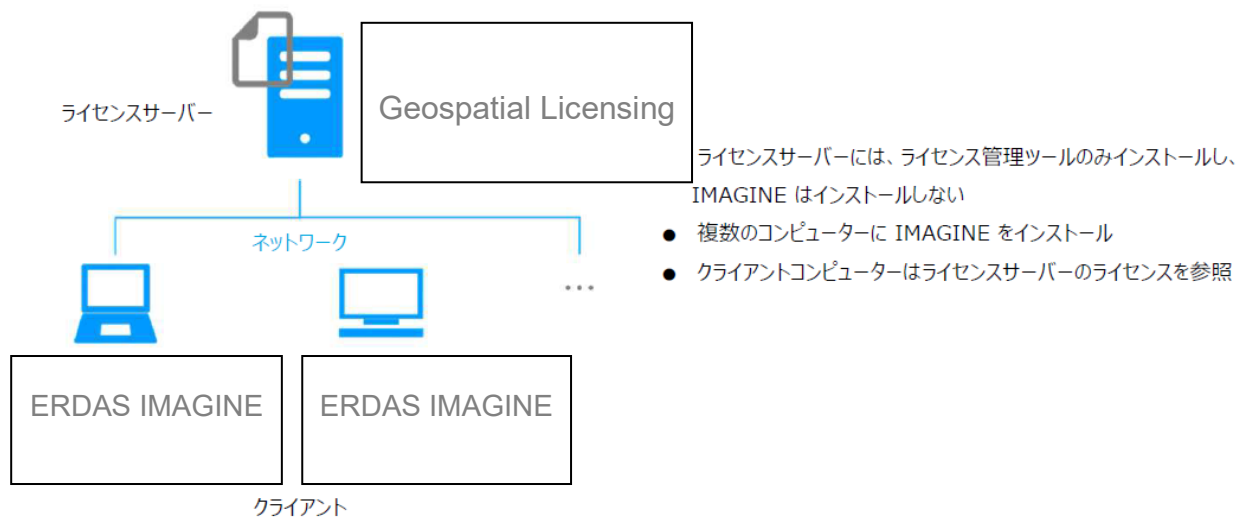
ライセンスサーバー
兼クライアント

- ライセンスサーバーと IMAGE をインストールしているマシンが同一
- 単一のマシンで IMAGE を使用

タイプ 2: ライセンスサーバーに IMAGINE をインストールする場合（コンカレントタイプ）



タイプ 3: ライセンスサーバーとは別のコンピューターに IMAGINE をインストールする場合



インターネット環境ではない場合やアクティベーション ID がない場合

インターネット環境にないお客様は旧ライセンスシステムのコンピューター固有の ID (Composite ID)またはハードウェアキーの ID のいずれかにてライセンスを管理していただくことが可能です。また、アクティベーション ID が弊社から送付されていない、もしくは送付したメールが確認できないという場合があります。旧ライセンスシステムによるライセンスの発行、あるいはアクティベーション ID の送付をご希望の方は弊社までご連絡ください。

連絡先:

Hexagon Safety Infrastructure & Geospatial

C/O 日本インターグラフ株式会社 営業担当

Email: sales.jp.gsp@hexagon.com

Tel: 03-4567-2068 Fax: 03-6809-4091

ソフトウェアをインストールするコンピューターの条件

ERDAS IMAGINE およびライセンス管理ツールが対応している動作環境にソフトウェアをインストールする必要があります。

詳細は、本ガイド付録 2 :動作環境をご覧ください。

管理者権限のある Windows ユーザーアカウント

ERDAS IMAGINE のインストール操作は、管理者権限のあるユーザーアカウントで Windows にログインした状態で実行してください。管理者権限のないユーザーアカウントでインストールを行うと、インストール中に問題が発生したり、必要な設定やインストールが正常に完了しない場合があります。

使用するインストーラー

Hexagon Geospatial の Web ページからインストーラーをダウンロードできます。IMAGINE を使い始める上で、最低限必要なアプリケーションは次の通りです。

ライセンスサーバーとしてのみ使用するコンピューター

- Geospatial Licensing 2025

ライセンスサーバー兼 IMAGINE のクライアントとなるコンピューター

- ERDAS IMAGINE 2025

※ ERDAS IMAGINE 2025 のインストーラーには、Geospatial License Administrator のインストーラーも含まれておりません。別々にご用意ください。

IMAGINE のクライアントのみとして使用するコンピューター

- ERDAS IMAGINE 2025

次頁の表に、ERDAS IMAGINE 2025 に関連するインストーラーを示します。

表：ERDAS IMAGINE 2025 に関連するインストーラーと名称

名称	説明
imagine-v16.9-win-x64	IMAGINE 2025 をインストールします。 [IMAGINE のインストールに必須。]
Geospatial-Licensing-16.9	ライセンス管理ツールをインストールします。
Geospatial-Licensing-16.9-Linux	Linux 版のライセンス管理ツールをインストールします。[オプション]
ermapper-v16.9-win-x86	ER Mapper2025 をインストールします。[オプション]
ermvectorsupport-v16.9-win-x86.zip	ERMVECTORSUPPORT をインストールします。[オプション]
condor-v16.9-win-x86	HT Condor をインストールします。[オプション]

Ⅲ.ERDAS IMAGINE 2025 のインストールと設定

以下のステップの順に操作を行い、ERDAS IMAGINE 2025 に必要なソフトウェアのインストールと設定を行います。

ステップ 0. インストーラーのダウンロード

ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール

ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2025 のインストール

ステップ 3. アクティベーションの設定

※ 付録 1 に、インストール操作のフローチャートを掲載しています。

ステップ 0. インストーラーのダウンロード

このステップでは、必要なソフトウェアのインストーラーをダウンロードする方法を紹介しています。

1. Hexagon Safety Infrastructure & Geospatial あるいは代理店からインストーラーのダウンロードリンクが記載されたメールを受け取ります。（注意事項：現行リリースされている最新バージョンのインストーラーは Web サイトには公開されておられません。インストーラーの入手が必要の場合は、Hexagon Safety Infrastructure & Geospatial あるいは代理店にお問い合わせください。）文章中に下記のようなダウンロードリンクの記載があることをご確認ください。
2. メールに記載されたリンクをクリックします。（注意事項：リンク先からのダウンロードは 14 日間のアクセス期限がございます。）
3. ダウンロードが始まります。
4. ダウンロードが完了したら、ZIP ファイルを解凍して、インストールを開始してください。

ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール

このステップでは、IMAGINE のライセンス管理に使用する Geospatial Licensing 2025 のインストール操作について説明します。

Geospatial Licensing 2025 のインストール

チェックポイント：

- ☐ 旧バージョンの Geospatial Licensing のアンインストール
- ☐ Geospatial Licensing 2025 のインストール

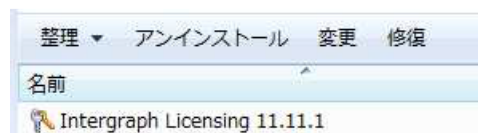
☐ 旧バージョンの Geospatial Licensing のアンインストール

IMAGINE2025 をご使用いただくには、最新バージョンの Geospatial Licensing をインストールいただく必要がございます。

旧バージョンの IMAGINE（2023 等）をインストールしていたコンピューターの場合は、以下の操作で、旧バージョンのライセンス管理ツールをアンインストールしてください。

1. Windows の [スタート] メニューから [設定] をクリックし、[アプリと機能] をクリックします。

-
- インストールされているアプリケーションのリストから [Geospatial Licensing] を選択し、[アンインストール] をクリックしてこの機能をアンインストールします。



アンインストールが完了したら、「Geospatial Licensing 2025 のインストール」の操作に進みます。

□ Geospatial Licensing 2025 のインストール

ライセンスの管理方法によって、使用するインストーラーが異なります。該当するケースの操作方法に沿って Geospatial Licensing 2025 をインストールしてください。

ケース 1: ライセンスサーバーとなるコンピューターに、IMAGINE をインストールしない場合（18 ページ参照）

ケース 2: ライセンスサーバーとなるコンピューターに、IMAGINE もインストールする場合（21 ページ参照）

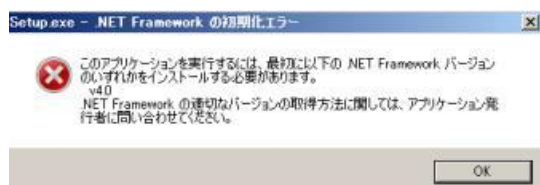
ケース 1: ライセンスサーバーとなる PC に、IMAGINE をインストールしない場合

Geospatial Licensing 2025 のインストーラーを使用して、ライセンス管理ツールだけをライセンスサーバーとなるコンピューターにインストールします。

- ステップ 0 の操作で、[Geospatial Licensing 2025] を選択してダウンロードした [Geospatial-Licensing-2025.zip] ファイルをローカルディスクに解凍します。解凍されたフォルダー内の [Setup.exe] を右クリックして、[管理者として実行] を選択します。

.Net Framework の初期化エラー

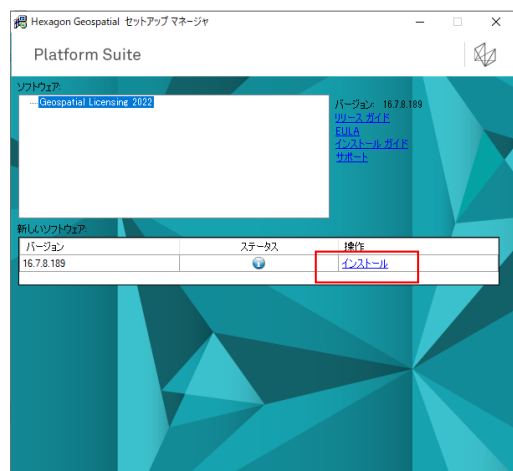
下図のような「.Net Framework の初期化エラー」のメッセージが表示されたら、.Net Framework をインストールする必要があります。[OK] をクリックしてメッセージを閉じます。



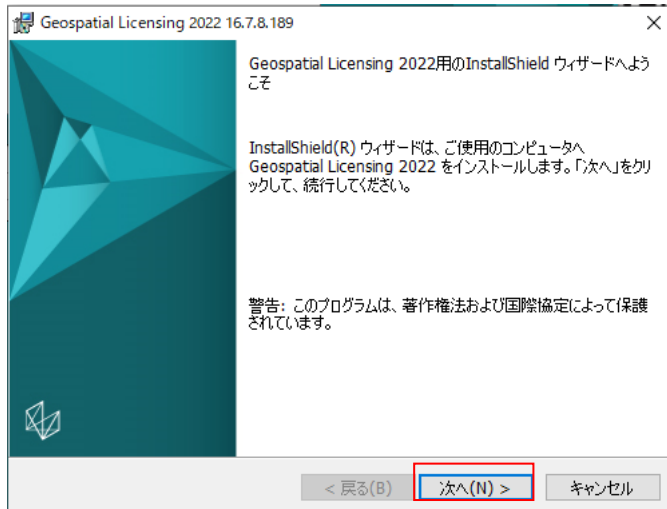
インストーラーのフォルダー内の [NDP451-KB2858728-x86-x64-AllOS-ENU.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。ダイアログに沿って、Microsoft .NET Framework 4.5.1 のセットアップを実行します。

※ .NET Framework のインストール後に、コンピューターを再起動するようにプロンプトされます。再起動後に、(1) の手順に戻り、Geospatial Licensing のインストールを開始してください。

2. Hexagon Geospatial セットアップマネージャーが起動します。ダイアログ下部の [新しいソフトウェア] > [操作] から [インストール] をクリックします。



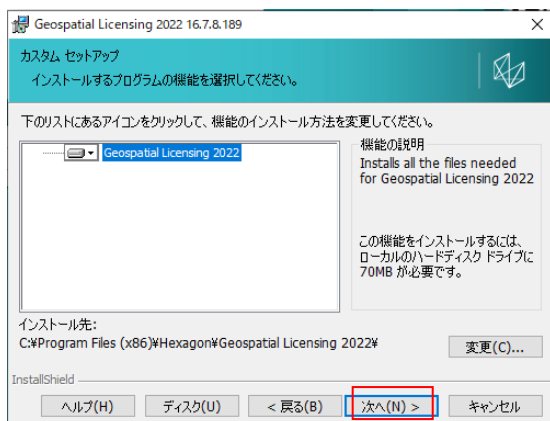
3. ウィザードに沿って、インストールを進めます。[次へ(N) >] をクリックします。



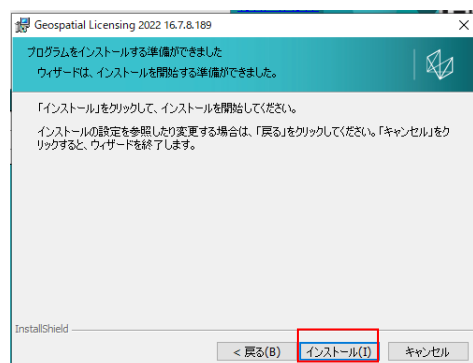
4. [使用許諾契約の条項に同意します(A)] を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。



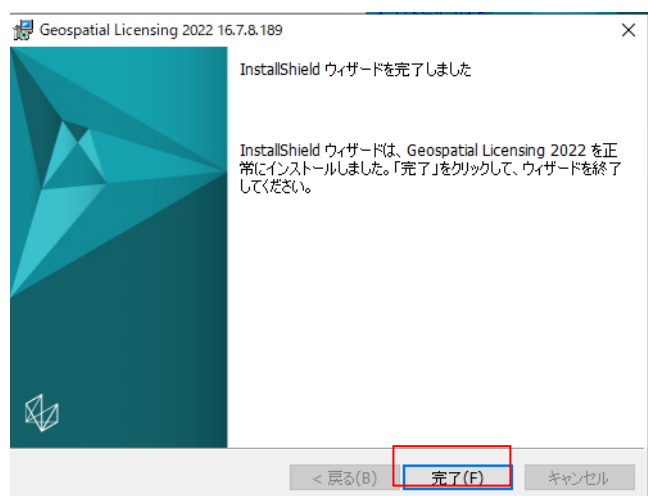
5. [次へ(N) >] をクリックします。



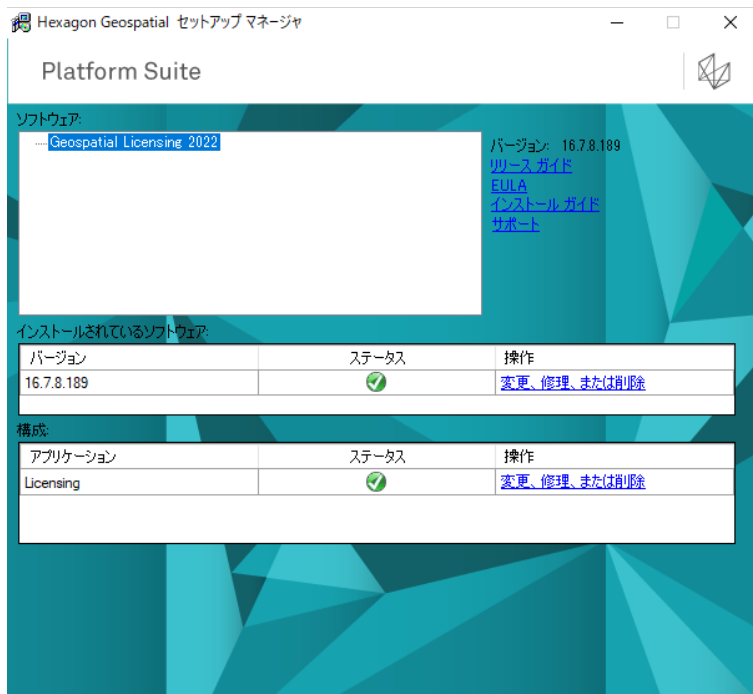
6. [インストール] をクリックして、Geospatial Licensing のインストールを開始します。



7. インストールが終了したら [完了] をクリックしてウィザードを閉じます。



下図のようにステータスにチェックマークが表示されたら、Geospatial Licensing のインストールが完了したことになります。



Hexagon Geospatial セットアップマネージャのダイアログ右上の [X] マークをクリックして閉じます。

ケース 2: ライセンスサーバーとなるコンピューターに、IMAGINE もインストールする場合

IMAGINE をインストールするコンピューターにも、Geospatial Licensing をインストールしてください。

ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2025 のインストール

このステップでは、ERDAS IMAGINE 2025 のインストール操作について説明します。

チェックポイント：

- ☐ ERDAS IMAGINE 2025 のインストール（必須）
- ☐ ERDAS IMAGINE 2025 サンプルデータのインストール（オプション）

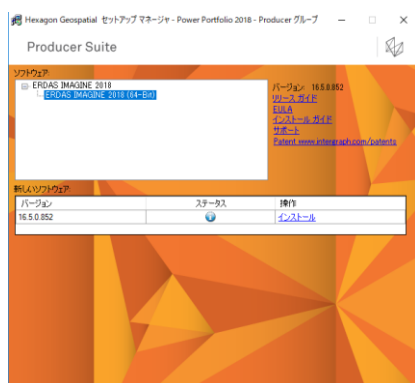
❑ ERDAS IMAGINE 2025 のインストール（必須）

以下の操作に沿って IMAGINE 2025 のアプリケーションをインストールします。

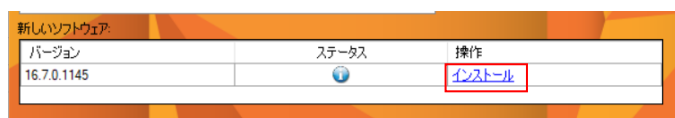
1. ステップ 0 の操作で、[ERDAS IMAGINE 2025] を選択してダウンロードしたインストーラーを用意します。

IMAGINE-v16.9.x-win-x64.zip

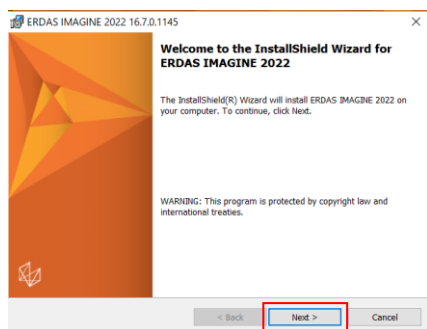
2. ZIP ファイルを解凍したフォルダー内の [Setup.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
3. Hexagon Geospatial セットアップマネージャーが起動します。[ソフトウェア] > [ERDAS IMAGINE 2025] の横にある[+] をクリックして展開し、[ERDAS IMAGINE 2025(64-bit)] を選択します。



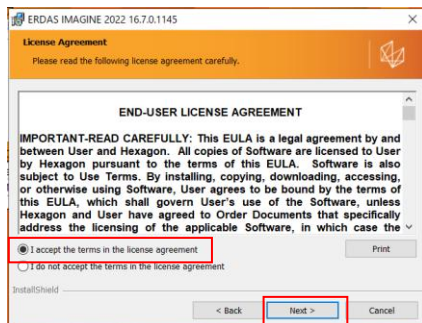
4. ダイアログ下部の [新しいソフトウェア] > [操作] から [インストール] をクリックします。



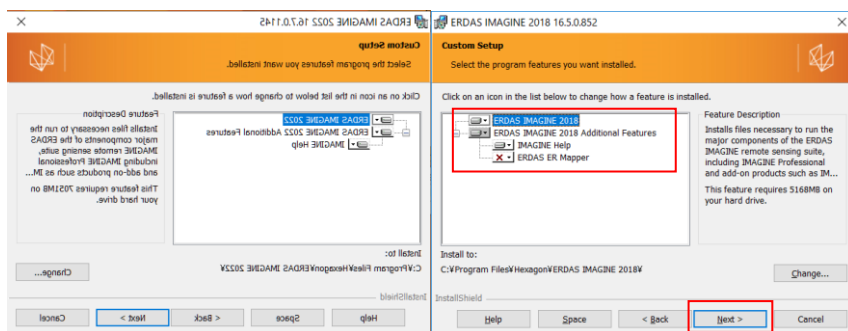
5. ウィザードに沿って、インストールを進めます。[Next >] をクリックします。



6. [I accept the terms in the license agreement] を選択し、[Next >] をクリックします。

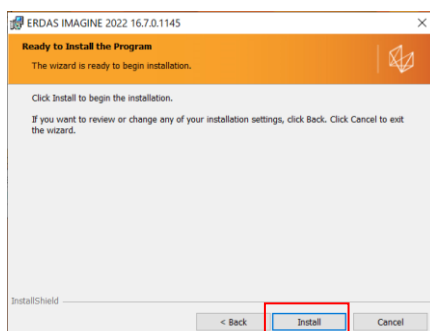


7. デフォルトで必要な機能がすべてインストールされる設定になっています。[Next >] をクリックします。

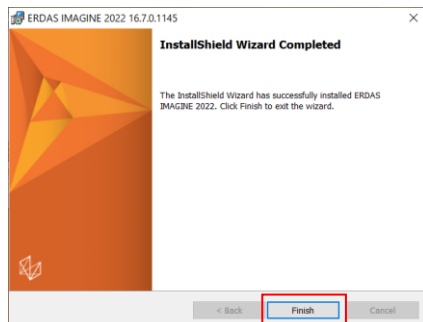


- ※ ER Mapper をインストールするには、別途 ER Mapper のインストーラーをダウンロード、インストールしてください。ER Mapper の起動には IMAGINE Professional のライセンスが必要です。
- ※ アドオンモジュールの機能も同時にインストールされます。各機能の利用可否は、ライセンスファイルで管理されています。

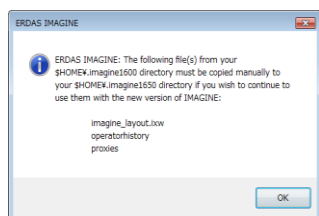
8. [Install] をクリックして、インストールを開始します。



9. インストールが完了したら [Finish] をクリックします。



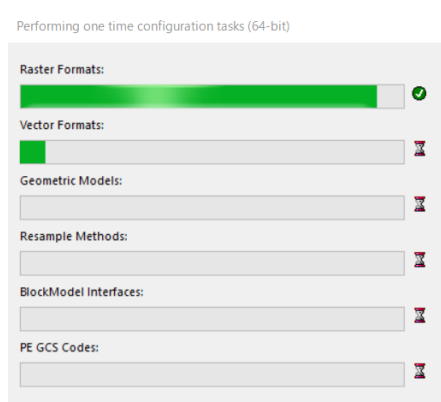
Finish ボタンをクリック後、過去のバージョンの IMAGINE がインストール済みのコンピューターでは過去バージョンで使用していたレイアウトやプロキシ、操作の履歴等を手動にて引き継げるというメッセージが表示されます(※)。



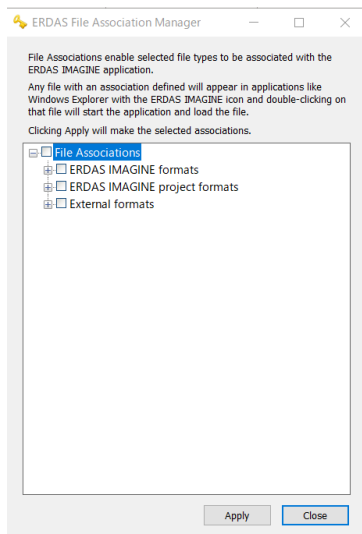
10.OK ボタンをクリックします。

※ ホームディレクトリ直下の.imagine1600 フォルダから image_layout.ixw, operationhistory,proxies 等（環境によっては他のファイルも引き継ぐことができます）を.image16.6.x0 にコピーすることで設定を引き継ぐことができます。

InstallShield ウィザードを閉じると、自動的にアプリケーションの構成処理が実行されます。完了するまで数分かかります。



11.アプリケーションの構成が終了すると、ERDAS File Association Manager ダイアログが表示されます。



IMAGINE のアプリケーションに関連付けたいファイルタイプを選択し、[Apply] をクリックして設定を適用します。[Close]をクリックしてダイアログを閉じます。

※ ファイルタイプの関連付けは、IMAGINE のアプリケーションで後から変更が可能です。

下図のようにステータスにチェックマークが表示されたら、ERDAS IMAGINE のインストールが完了したことになります。

インストールされているソフトウェア		
バージョン	ステータス	操作
16.7.0.1145	✓	変更、修理、または削除
構成		
アプリケーション	ステータス	操作
ERDAS IMAGINE	✓	変更、修理、または削除

12.Hexagon Geospatial セットアップマネージャーのダイアログ右上の [X] マークをクリックして閉じます。

2025

ステップ 3. アクティベーションの設定

このステップでは、アクティベーションの設定方法について紹介します。ライセンスサーバーにするコンピューターでアクティベーションを行います。IMAGINE がインストールされているライセンスサーバー以外のコンピューターでは、ライセンスサーバーへの参照設定も実施する必要があります。

準備するもの	アクティベーション ID 或いは アクティベーション ID ファイル (xml ファイル)
--------	---

ERDAS IMAGINE 2025 (v16.9) は原則として従来ライセンスファイル(*.lic)の申請と取得作業は必要ありません。ライセンスは、弊社より送付されたアクティベーション ID (※) を登録することで弊社のサーバーからコンピューターに自動的に転送される仕組みとなっています。

(ア) 現時点ではアクティベーション ID は購入時、もしくは新バージョンリリース時にご依頼いただくことで弊社よりメール等で送付させていただく形になります。

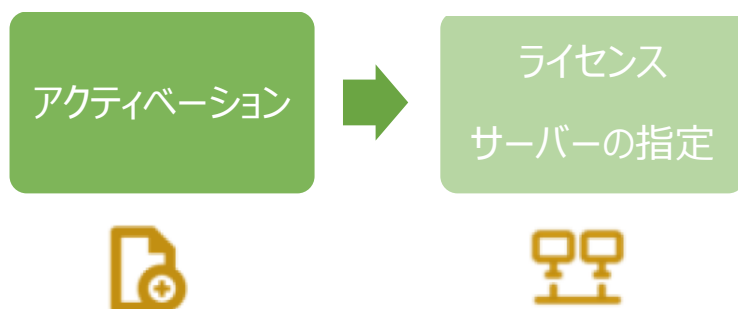
 アクティベーションをするためにライセンスサーバーとしてご使用になるマシンがインターネットにつながっている必要があります。ネット環境がない場合、あるいはハードウェアキーでのライセンス管理が必要な場合は p7 の「インターネット環境ではない場合のライセンスやアクティベーション ID がない場合」をご参照ください。バージョン 2025 に対応した旧ライセンスシステムでのライセンスを発行します。

ライセンスサーバーの管理の仕方によって必要になる操作が多少異なります。該当するケースの操作を行ってください。

ケース 1: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE をインストールしていない場合 (29 ページ参照)

ライセンスサーバー側

クライアント側



ケース 2: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE もインストールしている場合 (35 ページ参照)

ライセンスサーバー兼クライアント側

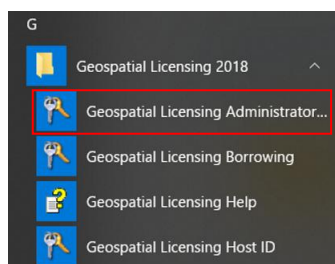


ケース 1：ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE をインストールしていない場合

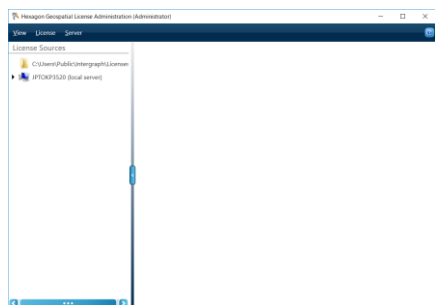
アクティベーションの設定 - ライセンスサーバー -

以下の操作で、ライセンスサーバー側のコンピューターでアクティベーション ID を登録します。

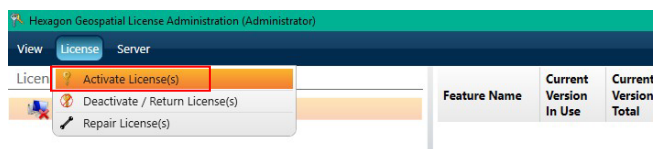
1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [Geospatial Licensing 2025] > [Geospatial License Administrator] をクリックします。



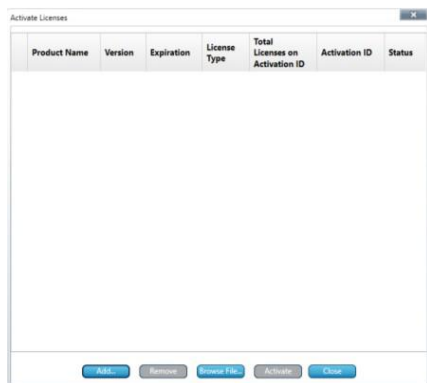
Geospatial License Administrator が起動します。



2. [License management]>「Activate License(s)」をクリックします。



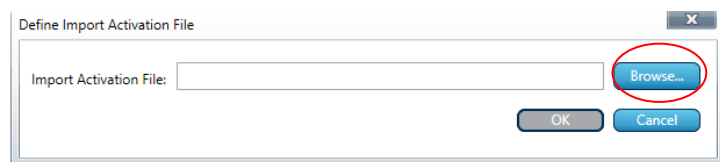
[Active License(s)]ウィンドウが開きます。



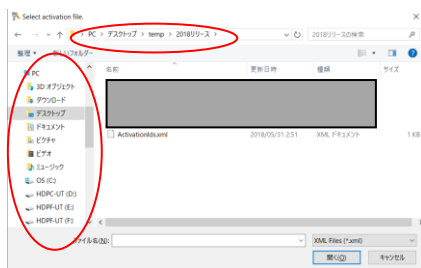
アクティベーションの設定にはアクティベーション ID ファイルを用いる方法とアクティベーション ID を入力する方法の 2 つがあります。

アクティベーション ID ファイル（xml ファイル）を用いた設定方法

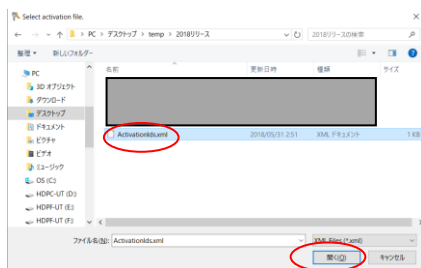
1. 弊社よりメールで送られてきたアクティベーション ID ファイル(ActivationIds.xml)をライセンスサーバマシンの任意のフォルダーに保存しておきます。
2. [Browse File ...]をクリックすると、[Define Import Activation File]ウィンドウが開きます。



3. [Browse...]ボタンをクリックします。Select activation file ウィンドウが表示されます。このウィンドウにて ActivationIds.xml ファイルが格納されているフォルダーに移動します。

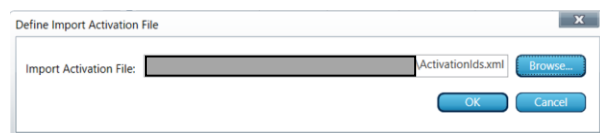


4. ActivationIds.xml ファイルをクリックし、[開く(O)]ボタンをクリックします。

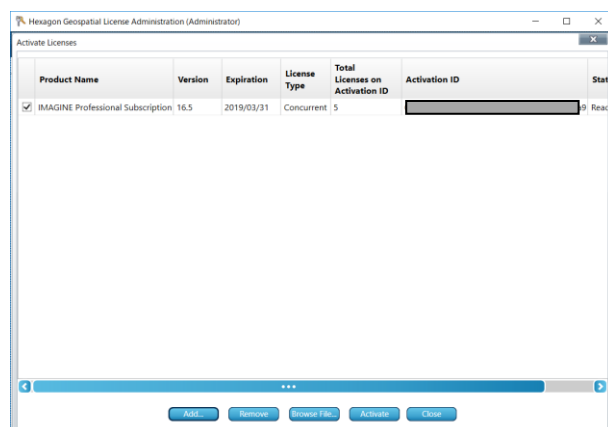


Define Import Activation File ウィンドウに ActivationIds.xml のパスが入力されます。

5. Define Import Activation File ウィンドウにて「OK」を押して確定します。



[Activate Licenses]ウィンドウに、アクティブにするためのライセンスが一覧表示されます。



ここまで終わったら、次の節の「アクティベーション ID を入力する設定方法」は飛ばし、35 ページの手順 3 から始めます。

アクティベーション ID を入力する設定方法

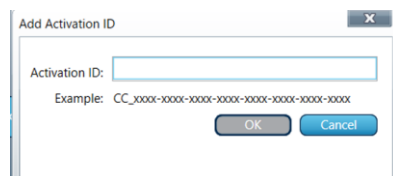
1. 弊社より送られてきた以下のようなメール文面から Activation ID の書かれた欄を確認しておきます。

Activation IDs

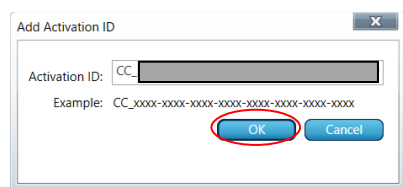
- For a nodelocked activation id (begins with NL), enter it the first time you run your product. You may also use the Geospatial License Administrator to activate it.
- For a concurrent activation id (begins with CC), enter it in the Geospatial License Administrator to activate the license.

Product Name	Activation ID	Version	Quantity	Contact	Department	Tags
IMAGINE Professional Subscription		16.5	5			

2. [Active License(s)]ウィンドウにて[Add ...]をクリックすると、[Add Activation ID]ウィンドウが開きます。



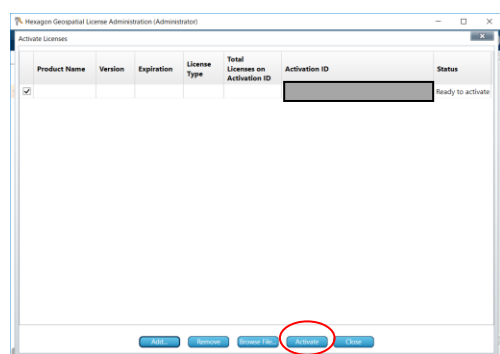
3. Add Activation ID ウィンドウにて送付されてきたメールの Activation ID 欄のアクティベーション ID を入力し、OK ボタンをクリックします。



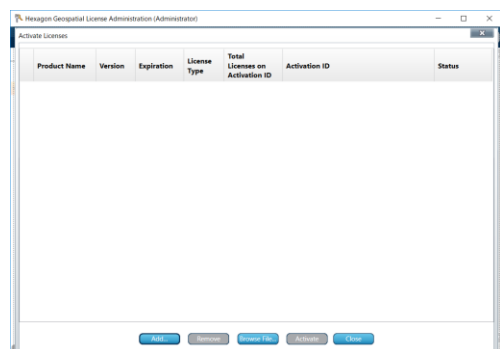
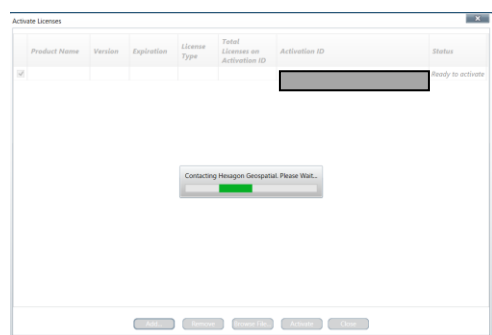
(イ) アクティベーション ID は「CC_xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx」という CC で始まり、xxxx という 4 桁の英数字の組み合わせが 8 つ続く形式になります。

(ウ) 入力の際は間違いのないようにするため、メールの Activation ID 欄をコピー & ペーストで貼り付けることを推奨します。

[Activate Licenses]ウィンドウに、アクティブにするためのライセンスが一覧表示されます。

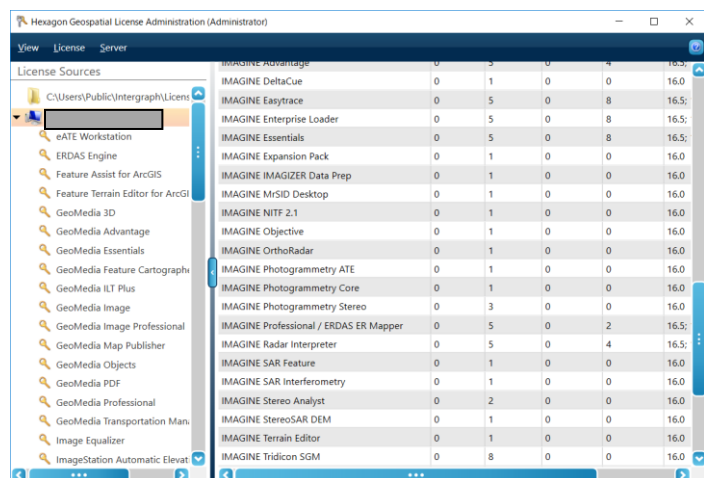


3. [Activate Licenses]ウィンドウにて Activate をクリックすると、アクティブ化要求が Hexagon サーバーに送信され、数秒後にウィンドウが空になります。



これで登録した ERDAS IMAGINE ライセンスをアクティベーションすることができました。

4. [Activate Licenses]ウィンドウにて[Close]をクリックし、Hexagon Geospatial License Administration ウィンドウにて左側の欄にあるサーバーマシン名をクリックすると、次のようにライセンスが確認できます。



これで、ライセンスサーバーのライセンス登録作業(アクティベーション)は完了です。次に、IMAGINE がインストールされているクライアント側のコンピューターでライセンスサーバーの参照設定を行います。

ライセンスサーバーの指定 - クライアント -

以下の操作で、IMAGINE がインストールされているクライアント側のコンピューターからライセンスサーバーを参照する設定を行います。

1. クライアントのコンピューターで Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [Geospatial Licensing 2025] > [Geospatial Licensing Administrator 2025] をクリックします。
2. Hexagon Geospatial License Administration が開きます。メニューから [License Sources] > [Add Concurrent License Source...] を選択します。



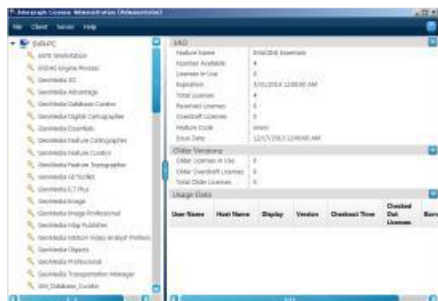
3. Add Concurrent License Source ダイアログが表示されます。[Computer name] フィールドにライセンスサーバーに設定したコンピューター名を入力し、[OK] をクリックします。



この例では、ライセンスサーバーのコンピューター名が「SVR-PC」として、設定します。

(エ) ポートをデフォルト値の 27000 以外に設定している場合は、[Port] のフィールドにライセンスサーバーで設定したポートの値を指定する必要があります。

4. ライセンスソースパネルに登録したライセンスサーバーの情報が表示されたら、ライセンス参照の設定は完了です。



複数のコンピューターに IMAGINE をインストールしている場合は、該当するすべてのクライアント側のコンピューターでこの作業を繰り返し行い、ライセンスサーバーへの参照を設定します。

ケース 2: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE もインストールしている場合

ライセンスサーバーとなっているコンピューターに IMAGINE がインストールされている場合は、アクティベーションを行うだけで、このコンピューターで IMAGINE を使用できるようになります。

29 ページの「アクティベーションの設定 - ライセンスサーバー -」のセクションで紹介している操作を行い、アクティベーションの設定を行ってください。

ライセンスサーバー以外の IMAGINE がインストールされているコンピューターでは、34 ページの「②ライセンスサーバーの指定 - クライアント -」で紹介している操作を行い、ライセンスサーバーの参照設定を行って下さい。

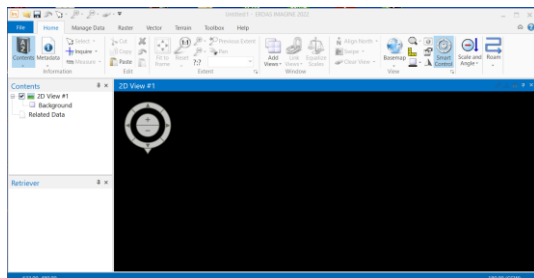
IV. ERDAS IMAGINE 2025 の起動確認

これで、ERDAS IMAGINE 2025 を使用する準備が整いました。正常に IMAGINE を起動できるかどうか確認しましょう。

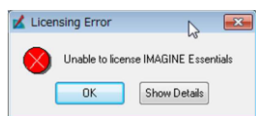
1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [ERDAS IMAGINE 2025] > [ERDAS IMAGINE 2025] をクリックします。



2. 下図のように、IMAGINE の eWorkstation が開きます。この状態で、IMAGINE を使いはじめることができます。



下図のようなエラーメッセージが表示されたら、ライセンスの設定に問題が生じています。



「ステップ 3 . アクティベーションの設定」(29 ページ) の操作に戻り、ライセンスの設定状況を確認してください。

V. ERDAS IMAGINE 2025 のアンインストール

このセクションでは、ERDAS IMAGINE 2025 および関連するアプリケーションのアンインストール方法について紹介します。

チェックポイント:

- ☐ ERDAS IMAGINE 2025 のアンインストール
- ☐ Geospatial Licensing 2025 のアンインストール

ERDAS IMAGINE 2025 製品をアンインストールするには、以下の操作が必要になります。

1. ERDAS IMAGINE 2025 のアンインストール
2. Geospatial Licensing 2025 のアンインストール

1. ERDAS IMAGINE 2025 のアンインストール

ERDAS IMAGINE 2025 は、以下のどちらかの方法でアンインストールできます。

方法 1: Hexagon Geospatial セットアップマネージャーの機能を使用する方法 (37 ページ)

方法 2 : Windows コントロールパネルの [プログラムと機能] を使用する方法 (38 ページ)

Hexagon Geospatial セットアップマネージャーを使用したアンインストール方法

IMAGINE 2025 のインストーラーを使用すると、以下の 2 つのコンポーネントをアンインストールできます。

□ IMAGINE のアプリケーション本体

□ 適用されている Fix や機能拡張

以下に、操作方法を紹介します。

1. ERDAS IMAGINE 2025 のインストーラーを準備します。入手方法については、本書 13 ページの「ステップ 0. インストーラーのダウンロード」を参照してください。
2. インストーラーのフォルダー内にある [Setup.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。Hexagon Geospatial セットアップマネージャーが開きます。
3. [ソフトウェア] > [Supporting Software] の横にある [+] アイコンをクリックして展開し、[ERDAS IMAGINE 2025] を選択します。
4. [Installed Software] の表から [変更、修正、または削除] をクリックします。

※ 構成の削除は、実施する必要はありません。

ウィザードが表示されるので [Next >] をクリックします。

5. ソフトウェアをアンインストールするには、[Remove] を選択し、[Next >] をクリックします。
6. [Remove] をクリックしてアンインストールを実行します。アンインストールの処理ステータスが表示されます。
7. アンインストール後に PC の再起動を促すこのダイアログが表示された場合は[OK]をクリックしてください。
8. 処理が完了すると Install Shield Wizard Completed のダイアログが表示されます。[Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。Hexagon Geospatial セットアップマネージャー右上の [X] マークをクリックしてダイアログを閉じます。

これで、IMAGINE 2025 のアンインストールは完了です。

Windows のコントロールパネルからアンインストールする方法

コントロールパネルの[プログラムと機能]からアンインストールを実行すると、IMAGINE 2025 のアプリケーションと適用されている Fix /機能拡張が 1 度にアンインストールできます。

以下の操作でアンインストールを実行できます。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能]をクリックします。
2. [ERDAS IMAGINE 2025] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
3. 下図のダイアログが表示されるので [はい] をクリックします。
4. アンインストールの処理が開始し、終了するとダイアログが閉じます。

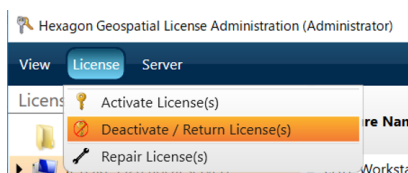
2.Geospatial Licensing 2025 のアンインストール

コントロールパネルの [アプリと機能] から Geospatial Licensing 2025 をアンインストールします。

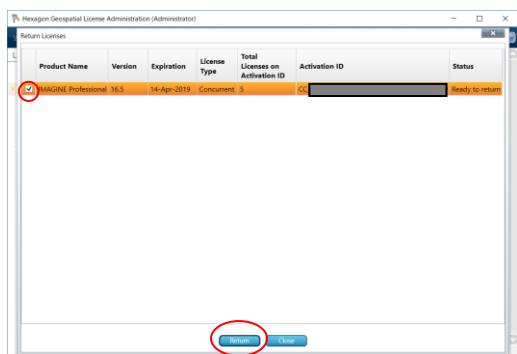
ライセンスサーバーとなっているコンピューターでは、以下の (1) ～ (5) の操作で、アンインストールの前にライセンスを返却してください。該当しない場合は、(6) の操作に進んでください(※Hexagon サーバーに返却されたライセンスは別のコンピューターにてアクティベーションを行うことでそのコンピューターをライセンスサーバーとして使用できます)。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [Geospatial Licensing 2025] >[Geospatial Licensing Administrator 2025] を選択します。
2. Geospatial License Administration が開きます。

下図のように、「サーバーコンピューター名 (local server)」の 登録がある場合は、コンピューター名を選択します。
[License] メニューから [Deactivate/Return License(s)] を選択してライセンスを Hexagon Server に返却します。



3. Return Licenses ウィンドウにてライセンスリストにある全てのライセンスにチェックを入れて、Return ボタンをクリックします。



ライセンスの返却が完了しました。

4. Return Licenses ウィンドウにて Close ボタンをクリックします。

Geospatial License Administration ウィンドウにてライセンスが返却されたことにより、ライセンスサービスの削除を確認できます。

5. Geospatial License Administration のダイアログ右上の [X] マークをクリックして、機能を閉じます。

6. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能]をクリックします。

7. [Geospatial Licensing 2025] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

8. アンインストールの可否についてのダイアログが表示されるので、[はい (Y)] をクリックします。

アンインストールの処理が開始し、終了するとダイアログが閉じます。

VI. FAQ

Q1: ライセンスを管理するコンピューターを変更できますか？	ライセンス
--------------------------------	-------

A: はい、ライセンスを別のライセンスサーバーに配置する場合は、まず既存のコンピューターでライセンスを Hexagonサーバーに返却にする必要があります。これを行うには、Geospatial License Administration 2025 を開き、License - Deactivate / Return License(s)を選択します。



このプロセスが正常に終了すると、他のコンピューター上でアクティベーションをすることができ、そのマシンをライセンス管理サーバーにできます。

Q2: セキュリティ上、使用しているコンピューターからインターネットに接続できません。インストーラーをダウンロードできないのですが、どうすればよいでしょうか？	インストーラー
---	---------

A: インストーラーをダウンロードできない環境の場合は、弊社サポート窓口までご相談ください。

サポート窓口: erdas.support.jp.gsp@hexagon.com

Q3: ライセンスの登録・参照の設定でエラーが表示され、うまくいきません。対応策を教えてください？	ライセンス設定
---	---------

A: ライセンスの登録や参照の設定時でお困りのときは、製品サポート窓口までご相談ください。

ライセンスの認証および設定において問題が解決しない場合は、以下の情報とともに製品サポート窓口宛てに E メールにてお問い合わせ下さい。

必要な情報

- ☐ Geospatial Licensing のログ情報
- ☐ エラーの画面のスクリーンショット画像（エラーが表示される場合）

- 問題や実施された操作の詳細
- コンピューターの OS およびバージョン
- 使用されている IMAGINE のバージョン

ログ情報の入手方法

Geospatial Licensing のログ情報は、以下の操作で得ることができます。

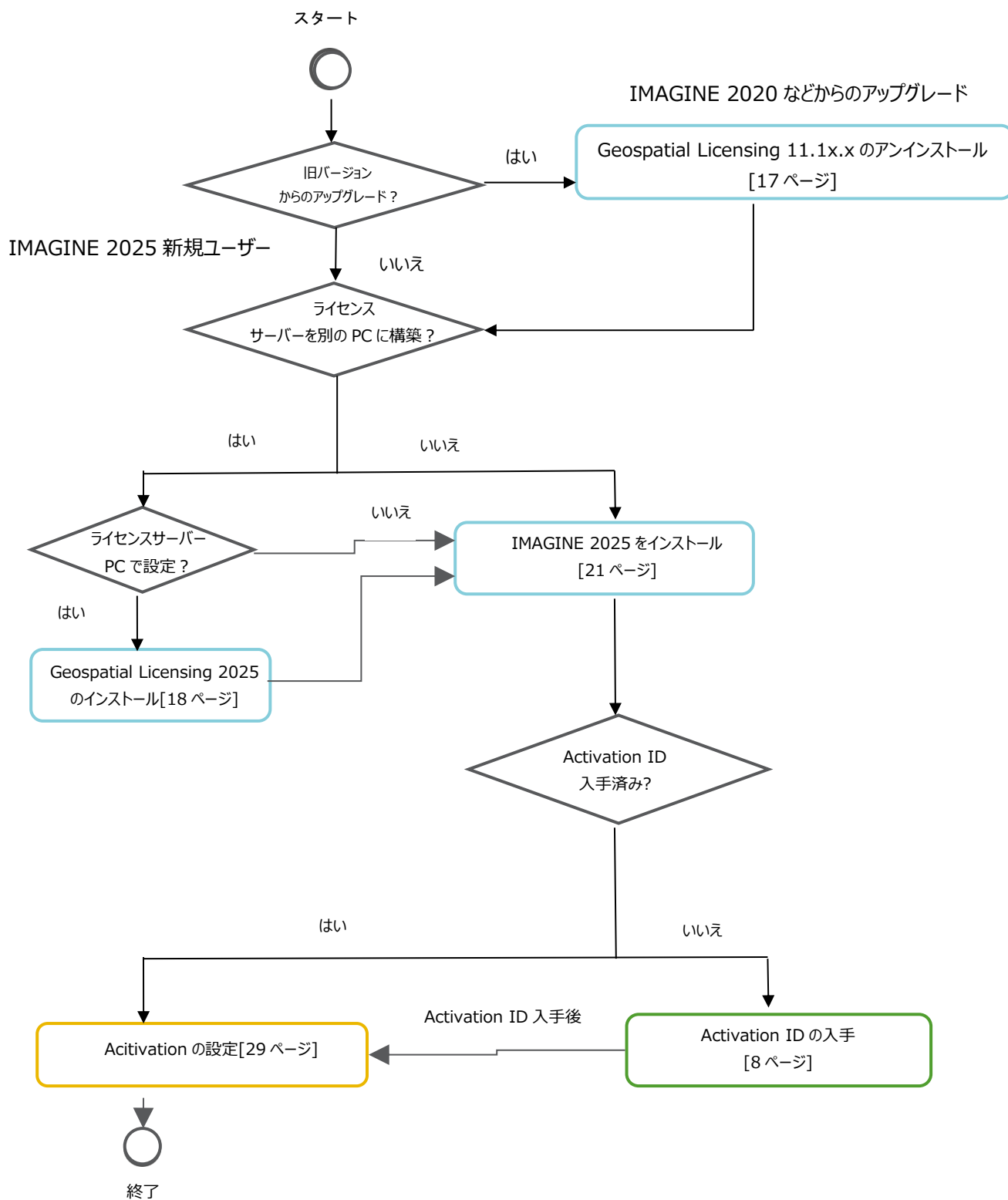
ライセンスサーバーのコンピューターで、以下のフォルダーを開きます。

C:¥Users¥Public¥Intergraph¥Licenses¥

フォルダー内に存在している「IntergraphLicensingService.log」というファイルにログ情報が記載されています。

このファイルをメールの添付としてご提供ください。

付録 1. IMAGINE 2025 のインストールの流れ



付録 2：動作環境

システム要件

ERDAS IMAGINE

コンピューター/プロセッサ	64ビットIntel 64 (EM64T)、AMD 64または同等品（4つ以上の論理プロセッサを強く推奨） 以下の機能には高度ベクトル命令セット（AVX）のサポートが必要です：空間モデラー内の人工知能演算子（各ヘルプページに記載） Hexagon Smart Point Cloud（HSPC）フォーマットの処理
メモリー（RAM）	最低16GB、それ以上を強く推奨
ディスク容量	- ソフトウェア用11GB 7GB（オプションのサンプルデータ用 - データ・ストレージの要件はマッピング・プロジェクトによって異なる¹ - ソフトウェアとデータの両方にSSDドライブを強く推奨
オペレーティング・システム ^{2,3,4}	- Windows 11 Enterprise（64ビット） - Windows 11 Professional（64ビット） - Windows Server 2022（64ビット）（MicrosoftのWebView2インストーラーが必要です） - Windows Server 2025（64ビット）
ソフトウェア	- グローブ・ビューにはOpenGL 4.2以上が必要です（通常、サポートされているグラフィックカードに付属しています）。⁵ - Java Runtime 1.7.0.80 以降 - IMAGINE Objective は JRE を必要とし、バージョン 1.7.0.80 以降のインストール済みかつ設定済みの JRE を活用できます。Microsoft Visual C++ 2010 x64 再配布可能パッケージも必要です。 - Python 3.9.x〜3.13.xは、ERDAS IMAGINEライブラリを参照するPythonスクリプトの記述や、Spatial Modelerで利用可能な演算子へのアクセスにオプションで使用できます。 - Python 3.9.xから3.13.xは、空間モデルエディタでPythonスクリプトを実行するためにオプションでサポートされています。 - Microsoft DirectX 9c以上 .NET Framework 4.7.2以上 - NNDiffuseや他の演算子をGPUアクセラレートしたい場合は、倍精度（cl_khr_fp64）をサポートするデバイスを持つOpenCL 1.2（適切なGPUが存在しない場合は、関数はCPUにフォールバックする必要があります。） - ディープラーニングを使用する場合はCUDA Computeレベルが3.5以上のNVIDIAカードを、その他の空間モデラーオペレーターを使用する場合は5.0以上のNVIDIAカードを推奨します（適切なGPUがない場合は、ほとんどの機能はCPUにフォールバックする必要があります）。
ステレオディスプレイ用推奨グラフィックスカード ⁶	- NVIDIA Quadro P6000、P5000、P4000およびP2000 - NVIDIA Quadro M6000、M5000、M4000およびM2000 - NVIDIA Quadro K5200、K5000、K4200、K4000、K2200、K600およびK420 - NVIDIA Quadro RTX 4000

	NVIDIA Quadro RTX A4500およびRTX A5000
推奨ステレオ・ディスプレイ・モニター	- NVIDIA 3D Vision Kit搭載120Hz（またはそれ以上）液晶モニター - シュナイダーデジタルの3D PluraViewシステム⁷ - ヴィジョン・エンジニアリング CONTOUR 3D立体視GISディスプレイ
推奨ステレオグラスとエミッターキット	- NVIDIA 3Dビジョンキット 3DTVユニバーサル・エミッター
周辺機器	すべてのソフトウェアのインストール： - スクロールホイール付きWindows互換マウスまたは同等の入力デバイス1台 - 印刷にはWindowsがサポートするハードコピーデバイスが必要です。⁸
	ソフトウェアセキュリティ（Hexagon Geospatial Licensing 2025）には、以下のいずれかが必要です： - イーサネットカード - ハードウェアキー用USBポート×1 高度なデータ収集には、以下のいずれかのハンドコントローラが必要です：⁹ - TopoMouseまたはTopoMouse USB - Immersion 3Dマウス - マウス・トラック - ステルス3D（Immersion）、S3D-Eタイプ、シリアルポート - ステルスZ、S2-Zモデル、USBバージョン - ステルスV、S3-Vタイプ（シリアルデバイスとして追加） - H-TYPE Stealth Mouse 3Dconnexionスペースマウス・プロ¹⁰ 3DconnexionのSpaceExplorerマウス¹⁰ - Z/Iマウス
ソフトウェアの相互運用性	- ERDAS IMAGINE は GeoMedia 2023 または GeoMedia 2025 がインストールされているコンピュータに安全にインストールできますが、最大の互換性を得るためには、一致するバージョン（アップデートを含む）をインストールすることを強くお勧めします。 - ERDAS IMAGINE 2025 のライブリンクには GeoMedia 2025 が必要です。 - ERDAS IMAGINE 2025 は ERDAS APOLLO 2022 カタログからウェブサービスを読み込むことができますが、 - ERDAS IMAGINE はファイル ジオデータベースと相互作用できます（ただし、ファイル ジオデータベースへのアクセスに ArcGIS のインストールは必要ありません）。

データベースエンジン	• PostgreSQL 13.2とPostGIS 3.1.1 : PostGISを使用してGeoMediaフィーチャ(.pfp)を格納することができます。 • Oracle Server 19c (12.2.0.3) 64 ビット : Oracle Server 19c を使用して、Oracle Spatial Features (.ogv) (Oracle Spatial が必要) および GeoMedia Features (.ofp) を格納できます。 • Microsoft SQL Server 2019 64 ビット : Microsoft SQL Server 2019 は GeoMedia Features (.sfp) の保存に使用できます。
インターネット接続	• ERDAS IMAGINE LiveLink for Google Earth Engineを使用するには、アクティブなインターネット接続が必要です。オフラインモードはありません。

ERDAS IMAGINE システム要件ノート

¹ 通常、ディスク I/O は地理空間データ処理において最も遅いタスクである。より高速なハードディスクは生産性を向上させる。1 つのディスクからデータを読み取り、2 つ目のディスクに一時データを書き込み、3 つ目のディスクにデータを書き込むことで、パフォーマンスが向上する。ディスクアレイは生産性を向上させるが、RAID オプションによってはパフォーマンスが低下する。ネットワーク・ディスク・ドライブはネットワークの制限を受けます。

² サーバーオペレーティングシステムは IMAGINE Photogrammetry、ORIMA、ERDAS ER Mapper には対応していません。

³ IMAGINE Photogrammetry の 3D ステレオ表示と周辺機器の要件により、オペレーティングシステムのオプションが制限されます。

⁴ ERDAS ER Mapper のサポートを含みます。

⁵ Windows は、サポートされているすべてのグラフィックカード用の汎用 OpenGL ドライバを提供しますが、これらのアプリケーションには、OpenGL に最適化されたグラフィックカードとドライバを推奨します。

⁶ IMAGINE Photogrammetry および ORIMA の旧バージョンで認定されたグラフィックカードも互換性がある場合がありますが、現行バージョンでは認定されていません。ドライバは R418 より新しいものであってはなりません。Nvidia は 2019 年 4 月 11 日にリリースされた R418 U4 (425.31) 以降にリリースされたドライバーの 3D Vision サポートを停止しました。

⁷ IMAGINE Photogrammetry および ORIMA の旧バージョンで認証されたステレオモニターも互換性がある場合がありますが、現行バージョンでは認証されていません。

⁸ HP-RTL ドライバーを推奨します。Windows 64 ビットプリントサーバーには 64 ビットプリントドライバーが必要です。

⁹ Stealth S-Mouse (S2-S モデル) と MOUSE-TRAK は、Stereo Analyst for ERDAS IMAGINE でサポートされている唯一のハンドコントローラです。

IMAGINE Photogrammetry では ¹⁰ 種類の 3Dconnexion マウスがサポートされています。

Geospatial Licensing 2025

コンピューター/プロセッサ	64ビットIntel 64 (EM64T)、AMD 64、または同等品（マルチコアプロセッサ推奨）
メモリー（RAM）	最低2GB
ディスク容量	275 MB（ソフトウェアのインストール用）
オペレーティング・システム	- Windows 10 Pro（64ビット） - Windows 10 Enterprise（64ビット） - Windows 11（64ビット） - Windows Server 2016（64ビット） - Windows Server 2019（64ビット） - Windows Server 2022（64ビット） - Windows Server 2025（64ビット）
ソフトウェア	.NET Framework 4.8 - XMLLite（ほとんどのWindowsオペレーティングシステムに含まれています） - Adobe® Reader® 7以上 - TLS 1.2（ほとんどのWindows OSに含まれている）
周辺機器	すべてのソフトウェアのインストールに必要です： - スクロールホイール付きWindows互換マウスまたは同等の入力デバイス1台 - 印刷にはWindowsがサポートするハードコピーデバイスが必要です。 - イーサネットカード、または - ハードウェアキー用USBポート×1